

Ver. 1.0.1

スマートボード

クイックガイド



説明書を読む前に

本説明書では、本製品の設置および運営のための基本的な説明を記述しています。本製品を初めてご使用になる使用者を初め、以前多くの類似製品を使用していた使用者の方でも、必ずご使用になる前に本説明書をお読みになり注意事項をご確認の上、製品を使用することをお勧め致します。安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるので、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管してください。

本書について

- 本書には複数の機種が説明されており、掲載の写真、図、説明文等は実際の製品の外観や機能と異なる場合があります。
- 本書には複数のソフトウェアについて説明されており、掲載の図や説明文は実際の GUI やソフトウェアの機能と異なる場合があります。
- 内容の正確性を期するよう努力しておりますが、技術的な誤りや誤植が存在することがあります。当社はそのような誤りについて責任を負うことはできず、事前の通知なしにマニュアルを変更する権利を留保します。
- 不適切な操作によって生じる破損や損害は当社で責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容は通知や予告なく変更する場合があります。製品バージョンのアップグレードや各地域における規則の遵守などの理由で本書は定期的に更新されます。

著作権について

本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしに、いかなる方法およびいかなる形式でも、複写、複製、翻訳、または配布することは禁じられています。

本書に記載されている製品には、当社またはそのライセンサーが所有する独自のソフトウェアが含まれている場合があります。許可のない限り、いかなる方法でもソフトウェアを複製、配布、変更、抽象化、逆コンパイル、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリング、レンタル、転送、またはサプライセンスを行うことは禁じられています。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

個人情報の保護について

当社はお客様の個人情報保護の徹底、適切な管理を社会的責務と考え、個人情報の保護に関する法律及びこれに関連する法規範に則り、お客様の個人情報の保護に取り組んで参ります。当社の個人情報保護方針については、当社サイトに記載のプライバシーポリシーの全文をお読みください。本書に記載の製品を使用する際には、顔、指紋、ナンバープレート番号、メールアドレス、電話番号、GPS などの個人情報が収集されることがあります。本製品を使用する際には、お住まいの地域の法規や規則を遵守してください。

免責事項について

- 適用法で認められる範囲において、当社はいかなる場合においても、特別損害、付隨的損害、間接的損害、派生的損害、利益、データ、文書の損失について一切の責任を負わないものとします。
- 本書に記載の製品は「現状のまま」の状態で提供されます。適用法で義務付けられている場合を除き、本書は情報提供のみを目的としており、本書のすべての記述、情報、推奨事項について、明示的あるいは黙示的を問わず一切の保証を致しかねます。（商品性、品質の満足度、特定用途への適合性、権利非侵害等を含むがこれらに限定されない。）
- 本製品をインターネットに接続することによって生ずるリスク（ネットワーク攻撃やハッキング、ウィルスを含むがこれらに限定されない）は、すべて使用者が責任を負うものとします。ネットワーク、デバイス、データ、個人情報の保護を強化するために必要なあらゆる措置を講じることを強くお勧めします。当社はこれらに関連するいかなる責任も負いかねますが、必要なセキュリティ関連のサポートを迅速に提供します。
- 適用法で禁止されていない限り、当社およびその従業員、ライセンサー、子会社、関連会社は、製品またはサービスの使用または使用不能から生じる結果（利益の損失およびその他の商業的損害または損失、データの損失、代替品またはサービスの調達、物的損害、人身被害、事業の中止、ビジネス情報の損失、または特別、直接的、間接的、偶発的、結果的、金銭的、補償、懲罰的、付隨的な損失を含むがそれに限定されない）に対して、いかなる場合も責任を負わないものとします。
- 適用法で認められる範囲内で、本書に記載されている製品に対するすべての損害（人身被害を含む場合に適用法で要求される場合を除く）に対する当社の責任の上限はお客様が製品に支払った金額を超えることはありません。

ネットワークセキュリティについて

下記を参考にデバイスのネットワークセキュリティを強化する上で必要な対策を講じてください。

- デフォルトパスワードの変更および強力なパスワードを設定する。初回ログイン後にデフォルトパスワードを変更するよう強くお勧めします。数字、文字、特殊文字の3種類をすべて含む9文字以上から成る強力なパスワードを設定してください。
- フームウェアを最新の状態に維持する。最新機能を取得しセキュリティを向上するため、デバイス内のフームウェアを常に最新の状態に維持するよう推奨します。最新のフームウェアについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。
- パスワードを定期的に変更する。パスワードを定期的に変更し、パスワードを安全に保管してください。関係者以外の人がログインできないようにしてください。
- HTTPS/SSL を有効にする。SSL 証明書を使用して HTTP 通信を暗号化し、データのセキュリティを確保してください。
- IP アドレスフィルタリングを有効にする。指定 IP アドレスからのアクセスのみを許可します。
- ポートマッピングを最小にする。WAN に対して開かれるポート数が最小になるようルーターまたはファイヤウォールを設定し、必要なポートマッピングのみを保持します。デバイスを DMZ ホストに設定したり、フルコーン NAT を設定しないでください。

ネットワークセキュリティについて

- 自動ログイン機能およびパスワード保存機能を無効にする。2人以上のユーザーがアクセスするコンピュータの場合、不正使用を防止するためこうした機能を無効にするよう推奨します。
- ユーザー名とパスワードを選ぶ。ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントの情報が漏れた場合に備えて、デバイスのユーザー名やパスワードとして、ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントなどと同一のユーザー名やパスワードを使用しないでください。
- ユーザー権限を制限する。2人以上のユーザーが同じアカウントにアクセスする必要がある場合、必要な権限のみを許可してください。
- UPnP を無効にする。UPnP を有効にした場合、ルーターは自動的に内部ポートをマッピングし、システムは自動的にポートデータを転送するので、データが漏洩する恐れがあります。したがって、お使いのルーターで HTTP と TCP ポートマッピングが手動で有効化されている場合、UPnP を無効にします。
- SNMP を使用しない場合は無効にする。SNMP を使用する場合は SNMPv3 を推奨します。
- マルチキャストは複数のデバイスにビデオを転送することを目的としております。この機能を使用しない場合、ネットワークでマルチキャストを無効にするよう推奨します。
- ログを確認する。不正なアクセスや異常な操作が行われていないか、デバイスログを定期的に確認してください。
- 物理的保護をする。物理的な不正アクセスを防止するため、鍵のかかる部屋かキャビネット内にデバイスを保管してください。
- ビデオ監視ネットワークを分離する。ビデオ監視ネットワークを他のサービスネットワークから分離すると、他のサービスネットワークからセキュリティシステムのデバイスへの不正アクセスを防ぐことができます。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

本製品は取扱説明書に従った正しい使い方をしてください。記載されている警告・注意事項を遵守しなかったり、不適当な使い方をすると、本製品の破損や故障、人への危害、財産の損害を招く可能性があります。これらにより発生した損害は、当社では責任を負いかねます。

ご使用になる前に

安全および製品の故障を防ぐため、本製品をご使用になる前に下記の内容を必ず熟読した後でお使いください。製品を正しく使うことで使用者の安全を保護し、財産上の損害などを防止するための内容であるため、必ずお読みになった上、正しくお使いください。

- 製品を運搬、または設置する時に衝撃を与えないでください。
- 下記のような場所を避けて設置してください。
 - ・直接、日光のあたる場所を避けて設置してください。
 - ・高温になるところ。
 - ・ほこりや湿気の多い場所。
 - ・衝撃や振動が加わる場所。
 - ・強い磁気を発生するおそれのある電気機器に近いところ。
- 製品の動作中には、製品を動かしたり移動しないでください。
- 清掃をする時は電源を切った後、必ず乾いた布で拭いてください。
- 電源コードを引っ張って抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。破損した電源コードを使うと、火災および感電につながる恐れがあります。
- 商品の分解、改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 内部に手を触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 腐食性のガスや塵埃がかからないようにしてください。故障や寿命低下の原因となります。
- 製品の重みで落下しないようにしっかりととした場所に堅固に取り付けてください。落下によるケガの原因となります。
- 火気やストーブを近づけないでください。変形や故障の原因となります。
- 電気製品などの電気的ノイズや電磁波が発生する物を近づけないでください。誤作動や故障の原因となります。
- 本製品から異様な匂いがしたり煙が出たら、直ちに電源を切って購入先まで連絡してください。
- 指などで直接画面に触れたり、圧力をかけないでください。画面が損傷する可能性があります。
- 本製品は平坦な場所に水平に設置してください。また極端に暑いまたは寒い場所、直射日光のあたる場所、塵や埃の多い場所には設置しないでください。
- 故障や異常に気づきのときは、お買い上げの販売店にお申し出ください。そのままご使用になりますと、故障の拡大や思わぬ事故の原因となります。
- 本製品を無断で改造した場合には、製品保証の対象となりませんので注意してください。
- 本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のものです。他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。

1. 同梱リスト

商品の破損や部品の不足があった場合には、お買い上げの販売店へご連絡ください。
同梱品はデバイスマodelによって異なる場合があります。

番号	項目	数量
1	スマートボード(本体)	1
2	ワイヤレスモジュール	1
3	電源ケーブル	1
4	タッチペン	2
5	リモコン(※)	1
6	ウォールマウントブラケットセット	1
7	クイックガイド(本ガイド)	1
8	保証書	1
9	ドライバー	1
10	ブラケット固定用ネジ(M5×約40mm)	2
11	ボード(本体)取付用ネジ(M8×約20mm)	4
12	ウォールマウントブラケット取付用アンカーボルトセット(M8×約80mm)	6

※乾電池は同梱されていません。ご使用になる際は、お近くの家電量販店にて単4形乾電池を2つお買い求めの上、ご使用ください。

2. 製品概要

外観とインターフェースはデバイスモデルによって異なることがあります。

2.1 外観

図 1 正面図

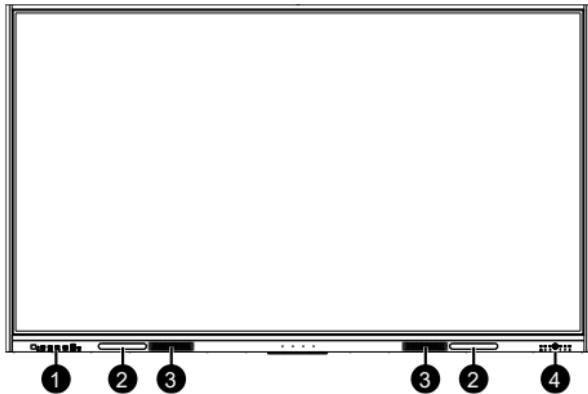
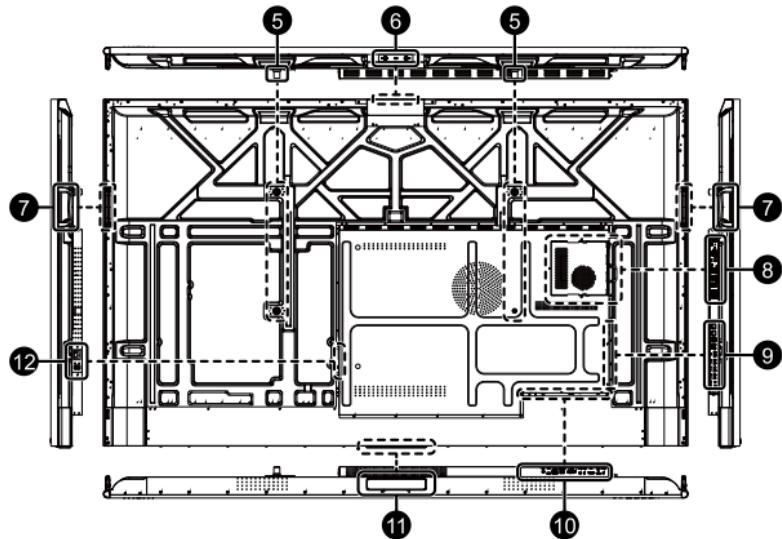


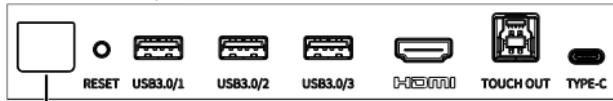
図 2 背面図



①前面インターフェース	②タッチペン用スロット	③スピーカ
④前面ボタン	⑤プラケットホール	⑥モジュールコネクタ
⑦ハンドル	⑧OPS スロット (PC モジュール)	⑨側面インターフェース
⑩底面インターフェース	⑪ワイヤレスモジュールコネクタ	⑫電源インターフェース

2.2 インターフェース/ボタン

図 3 前面インターフェース/ボタン



IR イン/感光センサー

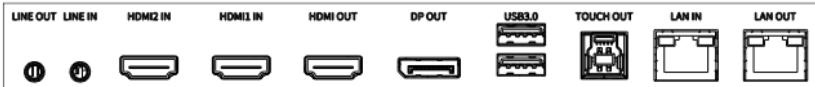
項目	説明
IR イン/ 感光センサー	<ul style="list-style-type: none"> IR イン：リモコンからの信号を受信し、ディスプレイを操作します。 感光センサー：周囲の光の強度に基づいて、画面の明るさを自動的に調整します。
リセット	現在は未対応です。
USB	USB ドライブ、キーボードおよびマウス等の USB デバイスを接続可能です。
HDMI	モニター等の映像表示デバイスを接続し、映像出力が可能です。
TOUCH OUT	<p>HDMI ケーブル（別売）と USBTouch 用ケーブル（別売）を使用して PC とスマートボードを接続することで、PC からスマートボードをタッチ操作することができます。</p> <p>※一部のタッチ機能がご利用いただけない場合があります。 また、PC からスマートボードに接続されている USB デバイス（例：USB メモリ）を利用するこども可能です。</p>
TYPE-C	<p>Type-C to DisplayPort 変換ケーブル（別売）を使用して PC とスマートボードを接続することで、PC からスマートボードをタッチ操作することができます。</p> <p>※一部のタッチ機能がご利用いただけない場合があります。 また、PC からスマートボードに接続されている USB デバイス（例：USB メモリ）を利用するこども可能です。</p>

図 4 前面ボタン



項目	説明
OPS	Windows システムに切り替えます。 ※PC モジュール(別売)が接続されている場合に限る。
□	入力ソースを表示し、切り替えます。
Fn	ホーム画面に戻ります。 ※ファームウェアのバージョンによって機能が異なる場合があります。
○	電源状態のコントロールを行います。 インジケーターを通じてデバイスの状態を確認できます。 <ul style="list-style-type: none">● 赤：デバイスの電源は入っているが、起動していない。● 白：デバイスが起動中または正常に動作している。● 消灯：デバイスの電源がオフになっている。
🔉-	音量を下げます。
🔉+	音量を上げます。
⚙	デバイスの機能やネットワーク等の設定ができます。

図 5 側面インターフェース



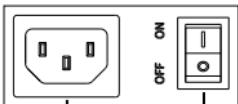
項目	説明
LINE OUT	オーディオの出力ができます。
LINE IN	オーディオの入力ができます。
HDMI IN	PC 等のデバイスを接続すると映像の入力ができます。
HDMI OUT DP OUT	モニター等の映像表示デバイスを接続して、映像を出力できます。
USB	USB ドライブ、キーボードおよびマウス等の USB デバイスを接続できます。
TOUCH OUT	HDMI ケーブル（別売）と USB Touch 用ケーブル（別売）を使用して PC とスマートボードを接続することで、PC からスマートボードをタッチ操作することができます。 ※一部のタッチ機能がご利用いただけない場合があります。 また、PC からスマートボードに接続されている USB デバイス（例：USB メモリ）を利用するこども可能です。
LAN IN	LAN ケーブルを用いてネットワークデバイスに接続できます。 (Android および Windows 両方に対応)
LAN OUT	PC やモニター等のデバイスに接続することで、これらのデバイスが同じネットワークに加わります。 ※LAN IN がイーサネットに接続されている場合にのみ使用可能です。

図 6 底面インターフェース



項目	説明
SPDIF	オーディオデバイス(スピーカ、ヘッドホン)を接続して音声の出力ができます。
TYPE-C	USB ドライブ等を接続して、データの転送が可能になります。
RS232	PC 等の他のデバイスを接続し、シリアルポートツールを介して制御信号を入力できます。 ※内部テスト用のため使用できません
USB3.0 ANDROID	USB ドライブ、キーボードおよびマウス等の USB デバイスを接続できます。 ※ディスプレイが Android を実行している場合に使用できる。
VGA IN	PC 等のデバイスを接続し、映像の入力ができます。
PC AUDIO	VGA 出力デバイスを接続し、オーディオの入力ができます。
YPBPR IN	YPBPR 出力可能な PC 等のデバイスを接続し、映像の入力ができます。
DP IN	PC 等のデバイスを接続し、映像信号の入力ができます。
TF CARD (Micro SD)	TF カード(micro SD)を挿入することでストレージ容量が拡張できます。※最大 256GB まで(別売)
EARPHONE	オーディオデバイス(スピーカ、ヘッドホン)を接続して、音声信号の入力/出力ができます。

図 7 電源インターフェース



電源コネクタ 電源スイッチ

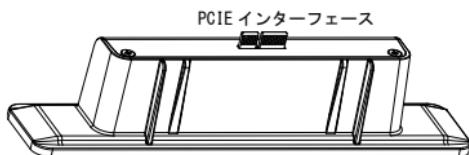
項目	説明
電源コネクタ	同梱の電源ケーブルを接続してください。
電源スイッチ	デバイスの電源をオン/オフできます。

2.3 ワイヤレスモジュール

ワイヤレスネットワークや Bluetooth デバイスに接続する必要がある場合、ワイヤレスモジュールをワイヤレスモジュールスロットに挿入してください。

- Wi-Fi モジュール : Wi-Fi 6 + Wi-Fi 5、Wi-Fi 6 はアップリンクルーティングに対応し、2.4GHz/5GHz をサポートします。
- Bluetooth モジュール : Wi-Fi 6 モジュールと統合されており、内蔵アンテナを搭載し、Bluetooth 5.2 プロトコルに対応しています。

図 8 ワイヤレスモジュール



2.4 リモートコントロール

ボタン	説明	図
(○)	デバイスをオン/オフできます。 ※リモコンを使用してデバイスをオフにした場合、デバイスは電源が入ったままになります。	
→	入力信号の切り替えができます。	
▶/	ビデオの再生/一時停止ができます。	
■	ビデオを停止し、再生画面を終了できます。 ※一部のアプリのみ有効です。ファームウェアのバージョンによって機能が異なる場合があります。	
🔇	音声をミュートします。	
🔊+	音量を上げます。	
🔊-	音量を下げます。	
ENTER	選択を確定します。	
MENU	設定画面を開きます。	
ESC	前の画面に戻ります。	
0~9	数字を選択します。	

※以上の表にて表示説明されていないボタンの機能は今後搭載予定であり、現在は使用できません。

3. 取り付け

3.1 プラケットの取り付け

同梱されているウォールマウントブラケットをボードの背面のプラケットホールに取り付けてください。ボード本体は壁掛け、移動式スタンドの両方に対応しています。

3.2 ケーブル接続

必要に応じて対応したケーブル、デバイスを接続してください。

詳しくは [インターフェース/ボタン](#) をご覧ください。

4. スタートアップ

初めて使用する際は、デバイスを電源に接続し、電源スイッチ※1 (…10P 図7) を入れて起動してください。起動後、セットアップウィザードに従ってデバイスの初期設定を完了してください。

※1 電源スイッチは筐体背面にございます。

※ ブートモードは、[設定 > 一般 > ブートモード](#) から設定できます。

5. GUI の導入

5.1 アイコン

アイコン	説明
	ナビゲーションバーを非表示にします。
	チュートリアルビデオ、操作ガイド、およびFAQを表示します。
	前の画面に戻ります。
	ホーム画面を表示します。
	実行中のすべてのアプリを表示します。
	入力信号を切り替え、対応する映像を表示します。
	ネットワーク、ディスプレイ、サウンドなどを設定します。
	電源状態（スリープ、再起動、シャットダウンなど）を選択します。
	音量調整などのさまざまな補助ツールを使用します。

6. トラブルシューティング

1. 電源インジケーターが赤のまま、緑に変わらない。
 - 電源ケーブルの接続が正常か確認してください
 - ディスプレイ/リモコンの電源ボタンを押して、ディスプレイの電源を入れてください
2. ディスプレイがオンにならない、画像と音が出ない、電源インジケーターが点灯していない。
 - 電源ケーブルの接続が正常か確認してください。
 - 電源スイッチが「オン」の位置に切り替えられているか確認してください。
 - ディスプレイ/リモコンの電源ボタンが正常か確認してください。
3. いくつかのボタンが機能しない。
 - ボタンが押し込まれたままの状態でないか確認してください。
 - ボタンの隙間にホコリがたまっているか確認してください。
4. ディスプレイが接続された PC を認識しない。
 - 別のインターフェースを試してください。
 - ケーブルを交換してください。
 - システムを再インストールしてください。
5. ディスプレイから音が出ない。

音量を上げてください。それでも音が出ない場合は、以下の操作を行ってください。

 - オーディオが入っているストレージデバイスを USB インターフェースに差し込み、音声を再生して音が出るか確認してください。音が出る場合はスピーカーは正常で、音が出ない場合はスピーカーまたは基板に問題があるかもしれません。

- システムを再インストールしてください。
6. 外部スピーカからノイズが出る。
 - 機器周辺に障害物がないか確認してください。
 - ヘッドホンを差し込み、ノイズが出るか確認してください。ノイズがない場合は、スピーカを交換する必要があります。
7. Wi-Fi 信号が弱い。
 - ワイヤレスルーターが正常に動作しているか確認してください。
 - Wi-Fi アンテナの周囲に障害物がないか確認してください。
8. デバイスが Wi-Fi に接続できない。
 - ワイヤレスルーターが正常に動作しているか確認してください。
 - IP アドレスを自動的に取得する設定 (DHCP) になっているか確認してください。
9. ディスプレイが有線ネットワークに接続できない。
 - 有線ネットワークおよびネットワーケーブルが正常か確認してください。

設定 > ネットワークとインターネット > ネットワークと共有センター > アダプターの設定の変更に進みます。
ローカルエリア接続を右クリックしてプロパティを選択し、「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択します。
次に「IP アドレスを自動的に取得する」、及び「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を有効にしてください。

10. ディスプレイ画面と強化ガラスクリーンプロテクターの間に水滴がある。
 - デバイスの正常な動作には影響を与えません。デバイスが正常である場合、水滴はデバイスの電源を入れた後に消失します。
11. 画像に線や波紋が表示される。
 - デバイスの近くに干渉物がないか確認してください。デバイスを干渉物から遠ざけるか、電源プラグを別のコンセントに差し込んでください。
 - 接続しているケーブルの状態を確認してください。
12. デバイスが反応せず、操作できない。
 - 一度電源を切り、1分間ほど待ってからデバイスを再起動してください。
13. ディスプレイのタッチの反応が遅れる、または全く反応しない。
 - 実行中のプログラムが多すぎないか確認してください。高いメモリ使用を引き起こしているプログラムを停止するか、デバイスを再起動してください
14. OPS コンピュータが正常に起動しない、画面に画像が表示されず、タッチの反応がない。
 - OPS コンピュータの電源を抜き、再度差し込んでください。

アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 万一故障が発生した場合、お買い上げの販売店にお申し出ください。
本製品は当社保証規定に基づき保証させていただいております。

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前に予告なく変更される場合があります。

JAPAN SECURITY SYSTEM

株式会社ジャパン・セキュリティシステム

〒105-5111 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービルディング南館 11 階